鈴鹿市「コミュニティバス（C-BUS）」に関する利用者アンケート調査

R8.9.18 現在

【調査回答ご協力のお願い】

日頃より鈴鹿市の市政推進にご理解・ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

鈴鹿市では、人口減少・少子高齢化の進展や地域公共交通の担い手不足などにより、地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しています。

このような状況のなか、令和４年６月に策定した「鈴鹿市地域公共交通計画」に基づき、各種交通施策の推進に取り組んできました。当該計画が令和９年度末で終期を迎えることから、現行計画の成果と課題を整理し、検証するとともに、本市の実情に即した実効性の高い「鈴鹿市地域公共交通計画」の改定を進めているところです。

このアンケート調査は、計画改定の基礎資料として活用するため、鈴鹿市が運行するコミュニティバス（C-BUS）をご利用いただいている方を対象に、バスの利用状況や、ご意見・ご要望をお聞きするために実施するものです。調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

令和８年●月
鈴鹿市地域公共交通会議

【回答期限】 令和8年●月●●日（●）

【回答方法】

- 本アンケート調査は、コミュニティバス（C-BUS）利用者ご本人がご回答ください。
- 本調査票への記入のほか、WEB アンケートでの回答も可能です。どちらかの方法でご回答ください。
- ご自身での回答が難しい場合は、ご本人の意向を確認の上、代理の方が回答いただいても問題ありません。

①郵送　：この調査票に回答を直接記入してください。記入した調査票を返信用封筒に入れて投函してください。（切手不要）

②Web　：専用のフォームから回答できます。右記 QR コードまたは URL からフォームにアクセスし、回答してください。

QR コード

【Web 回答フォーム】：●●●●●●●●●●●●（期限以降はアクセスできなくなります）

＜調査に関するお問い合わせ先＞
鈴鹿市都市計画課（鈴鹿市地域公共交通会議事務局）【電話】059-382-9024

1. ご自身についてお尋ねします。

（問1）以下について、当てはまるものに1つに○又は記入してください。

⑴性別	1．男性　2．女性　3．左記1・2にあてはまらない
⑵年齢	10代　20代　30代　40代　50代 60～64歳　65～74歳　75歳以上
⑶職業	1．会社員・公務員・団体職員　2．派遣・パートアルバイト 3．小学生　4．中学生　5．高校生　6．大学生 7．主婦　8．自営業　9．無職　10．その他（＿＿＿＿）
⑷住まい ※お住まいの地区に1つ○	1．国府地区　2．庄野地区　3．加佐登地区　4．牧田地区 5．石薬師地区　6．白子地区　7．稲生地区　8．飯野地区 9．河曲地区　10．一ノ宮地区　11．箕田地区　12．玉垣地区 13．若松地区　14．神戸地区　15．栄地区　16．天名地区 17．合川地区　18．井田川地区　19．久間田地区　20．椿地区 21．深伊沢地区　22．鈴峰地区　23．庄内地区 24．市外（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿市・町）
⑸家族構成	1．一人暮らし　2．夫婦のみ　3．２世代で同居 4．３世代以上で同居　5．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）
⑹運転免許保有	1．免許を持っており、自分で運転する自家用車がある 2．免許を持っているが、自分で運転する自家用車はない 3．免許を持っていない

⑺バス交通の運行情報・接近情報（Bus－Vision）を知っていますか。（1つに○）

1．使っている　2．知っているが、使ったことはない　3．知らない

⑻市内の公共交通に関して、知っているものを選んでください。（当てはまるものすべてに○）

1．伊勢鉄道は、鈴鹿市を含む沿線自治体の財政負担によって運行維持されている
2．路線バスの一部は、鈴鹿市を含む沿線自治体の財政負担によって運行維持されている
3．コミュニティバス（C-BUS）から鉄道に乗り継ぎができる
4．コミュニティバス（C-BUS）は相互に乗り継ぎができる
5．コミュニティバス（C-BUS）は１日あたり約７０便以上が運行している
6．コミュニティバス（C-BUS）は１日あたり９台の車両で運行されている
7．コミュニティバス（C-BUS）は１日あたり１５人の運転士で運行されている
8．市内には５つのタクシー営業所があり、概ね30分以内での配車に対応している
9．市内公共交通の全時刻表・路線図が掲載された「鈴鹿市公共交通時刻表(2026年版)」
10．すべて知らない

2. コミュニティバス(C-BUS)の利用についてお尋ねします。

(問2) コミュニティバス(C-BUS)の利用状況についてお聞きします。

(1)コミュニティバス (C-BUS) の利用頻度をお答えください。(1に○)

1．週に5日以上　2．週3～4日程度　3．週1～2日程度　4．月2～3日程度
5．月1日程度　6．年に数日程度

(2)コミュニティバス (C-BUS) の主な利用目的をお答えください。(1つに○又は記入)

1．通勤　2．通学　3．買い物　4．通院
5．市役所　6．その他公共施設　7．趣味・習い事・娯楽　8．その他(＿＿＿＿)

(3)次に、コミュニティバス (C-BUS) を利用して一番よく行く目的地に当てはまる地区等をお答えください。(1つに○又は記入)

1．国府地区　2．庄野地区　3．加佐登地区　4．牧田地区
5．石薬師地区　6．白子地区　7．稲生地区　8．飯野地区
9．河曲地区　10．一ノ宮地区　11．箕田地区　12．玉垣地区
13．若松地区　14．神戸地区　15．栄地区　16．天名地区
17．合川地区　18．井田川地区　19．久間田地区　20．椿地区
21．深伊沢地区　22．鈴峰地区　23．庄内地区　24．市外(四日市市)
25．市外(津市)　26．市外(亀山市)　27．市外(名古屋市)　28．市外(桑名市)
29．市外(松阪市)　30．その他市外(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿市・町)

(4)コミュニティバス(C-BUS)を利用して一番よく行く目的地の施設名称をお答えください。
(記入例：○○小学校・中学校・高等学校 、 ○○スーパー△△店 、 ○○病院 など)

・施設名等〔＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿〕

(5) よく行く目的地への移動で、利用する路線をお答えください。(1つに○)

1．椿・平田線　2．庄内・神戸線　3．白子・平田線
4．太陽の街・平田線　5．路線名がわからない

(6)よく行く目的地への移動で、コミュニティバス (C-BUS) を往復利用しますか。(1つに○)

1．往復利用する(⇒(7)、(8)へ)　2．目的地への行きだけ利用する(⇒(7)へ)
3．目的地からの帰りだけ利用する(⇒(8)へ)

(7)よく行く目的地への【行き】の移動で、利用する主な時間帯をお答えください。(1つに○)

6時台	7時台	8時台	9時台	10時台
11時台	12時台	13時台	14時台	15時台
16時台	17時台	18時台	19時台	20時台

(8)よく行く目的地からの【帰り】の移動で、利用する主な時間帯をお答えください。(1つに○)

6時台	7時台	8時台	9時台	10時台
11時台	12時台	13時台	14時台	15時台
16時台	17時台	18時台	19時台	20時台

(9)よく行く目的地への移動で、利用する主な乗車バス停・降車バス停を別紙のコミュニティバス（C-BUS）路線図から選んでバス停の番号をそれぞれ記入してください。

乗車 バス停	別紙路線図に記載のバス停番号を記入 （＿＿＿＿＿＿＿＿）	降車 バス停	別紙路線図に記載のバス停番号を記入 （＿＿＿＿＿＿＿＿）

※（６）で2、3を選んだ方（片道だけコミュニティバス（C-BUS）を利用する方）にお聞きします。

(10)片道でバスを利用しない場合の移動手段をお答えください。（当てはまるものすべてに○）

1．徒歩　2．自転車　3．家族等による送迎　4．企業・学校の送迎バス
5．タクシー　6．福祉タクシー　7．病院送迎バス　8．その他（＿＿＿＿＿）

(11)コミュニティバス（C-BUS）を往復利用しない・できない理由をお答えください。（１つに○）

1．行きたい時間に運行していない　2．帰りたい時間に運行していない
3．C-BUS と鉄道との乗り換え時間が長い　4．C-BUS と路線バスとの乗り換え時間が長い
5．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

※以下より、すべての方がお答えください。

(12)目的地への移動で、コミュニティバス（C-BUS）と鉄道や路線バス等との乗り継ぎをしますか。（１つに○）

1．鉄道との乗り継ぎをする（**⇒(13)へ**）　2．路線バスとの乗り継ぎをする（**⇒(14)へ**）
3．別の C-BUS 路線との乗り継ぎをする（**⇒(15)へ**）　4．乗り継ぎをしない（**⇒次ページ（問３）へ**）

※(12)で1．を選んだ方（鉄道との乗り継ぎをする方）にお聞きします。

(13)コミュニティバス（C-BUS）から乗り継ぎする「鉄道駅」をお答えください。（１つに○）

1．鈴鹿市駅　2．平田町駅　3．白子駅　4．加佐登駅
5．河曲駅　6．中瀬古駅　7．徳田駅　8．鈴鹿サーキット稲生駅
9．乗り継ぎしない　10．その他の駅（＿＿＿＿＿＿＿＿駅）

※(12)で②を選んだ方（路線バスとの乗り継ぎをする方）にお聞きします。

(14)コミュニティバス（C-BUS）からよく乗り継ぎする「路線バス」をお答えください。（１つに○）

1．市内平田線　2．白子サーキット線　3．平田四日市線　4．亀山みずほ台線
5．平田亀山線　6．津太陽の街線　7．水沢線　8．こうにゅうどうくんﾌｲｰ
9．鈴鹿市内線（鈴鹿市駅経由）　10．鈴鹿市内線（MEGA ドンキ経由）　11．路線名が分からない

※(12)で③を選んだ方（別の C-BUS との乗り継ぎをする方）にお聞きします。

(15)コミュニティバス（C-BUS）からよく乗り継ぎする「別の C-BUS 路線」をお答えください。（１つに○）

1．椿・平田線　2．庄内・神戸線　3．白子・平田線
4．太陽の街・平田線　5．路線名がわからない

（問3）コミュニティバス（C-BUS）を利用する理由等についてお聞きします。

（1）コミュニティバス（C-BUS）を利用する主な理由をお答えください。（1つに○）

1．他に利用できる交通手段がない　2．家族等の送迎に頼らなくてよい
3．行きたいところにバスが運行している　4．出発地・目的地からバス停が近い
5．安心・安全に移動できる　6．運賃が安い
7．その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

（2）自宅から最寄りのバス停まで徒歩で何分程度かかりますか。（1つに○）

1．概ね100m以内（徒歩2分以内）　2．概ね100m~200m（徒歩4分以内）　3．概ね200m~300m（徒歩5分以内）
4．概ね300m~500m（徒歩10分以内）　5．概ね500m以上（徒歩10分超）　6．分からない

3．コミュニティバス（C-BUS）のあり方についてお尋ねします。

（問4）「コミュニティバス（C－BUS）」に対する重要度と満足度についてお聞きします。

（1）コミュニティバス（C-BUS）サービスに対する重要度と満足度を５段階で評価してください。（各項目1つずつ○）

コミュニティバス（C-BUS）	重要度					満足度				
項目	とても重要	重要	普通	重要でない	全く重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
例：運行本数	5	④	3	2	1	⑤	4	3	2	1
1．運行本数	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2．運行時間帯	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3．運賃	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4．車両	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5．運行ルート	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6．C-BUSと鉄道との接続	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7．C-BUSと路線バスとの接続	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8．C-BUS間の接続	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9．自宅から最寄りのバス停までの距離	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10．目的地からバス停までの距離	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11．時間の正確さ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12．バス停での情報提供（運行情報等）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13．バス車内での情報案内	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14．バス停へのアクセス道路	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15．バス停の設備（屋根、ベンチ等）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16．バス運転手の対応（車内での接客対応）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17．全体的な評価（総合評価）	－	－	－	－	－	5	4	3	2	1

(2)どのようなサービスが改善されると、コミュニティバス（C－BUS）の利用頻度が増えると思いますか。（3つまで○）※ 改善してもサービス利用が増えないと思う場合は、空欄（選択なし）としてください。

1．目的地からバス停が近くなる　2．自宅からバス停が近くなる　3．運行情報が分かりやすくなる
4．運行本数が増える　5．所要時間が短くなる　6．運行ダイヤ通りに来る
7．始発便の時間が早くなる　8．終発便の時間が遅くなる　9．鉄道との乗り換えが便利になる
10．路線バスとの乗り換えが便利になる　11．C-BUS 間の乗り換えが便利になる
12．その他（　　）

（問5）コミュニティバス(C-BUS)について、お考えをお聞きします。

※回答する前に下記をお読みください。

【参考】鈴鹿市コミュニティバス（C-BUS）の現状について

- 鈴鹿市のコミュニティバス(C-BUS)の年間利用者数は令和７年度で約22万人です。感染症対策の緩和以降、利用は回復傾向にありますが、コロナ禍前の水準には至っていません。（利用者による複数回利用を含む）
- 運行経費は令和７年度において約１億９千万円かかっており、令和３年度と比較して約 2,500 万円増加し、市財政負担額が年々増加している状況です。これは、利用者１人当たりにすると約 864 円の費用がかかっている計算になります。
- また、路線バスや C-BUS などの公共交通を取り巻く環境は、人口減少の進展やライフスタイルの変容などによる利用者の減少に加えて、人件費や燃料費の高騰、さらには運転士や整備士といった担い手の不足など、年々厳しさを増しています。

※上記の【参考】を読んでご回答ください。

(1)コミュニティバス（C-BUS）の運行に対する、鈴鹿市の負担のあり方について、どのようなお考えをお持ちですか？（1つに○）

1．市民の移動手段を確保することが大切なので、現状程度の市の負担は必要だと思う
2．需要に応じてバスの運行本数や路線を最適化し、市の負担を削減することが望ましいと思う
3．サービスを充実させることが大切なので、市の負担を増やしてバスの運行本数・路線・エリアを拡大したほうがよいと思う
4．その他（　　）

(2)コミュニティバス（C-BUS）を維持していくために必要な取組について、あなたのお考えに最も近いものをお選びください。（複数選択可）

1．市民が必要なときに積極的に利用することが大切だと思う
2．地域が主体的に参加・協力することが大切だと思う
3．行政が予算を増やし、サービスを充実させることが大切だと思う
4．利用が少ないバス路線　は、減便や廃線などの見直しが必要だと思う
5．運行の効率性とサービス充実のバランスを考えることが大切だと思う
6．わからない

(3)今後のコミュニティバス（C-BUS）利用について、どのようなお考えですか？（1つに○）

1．今後も同じ程度利用すると思う　2．今後はもっと利用したいと思う
3．今後は利用を減らす可能性がある　4．わからない

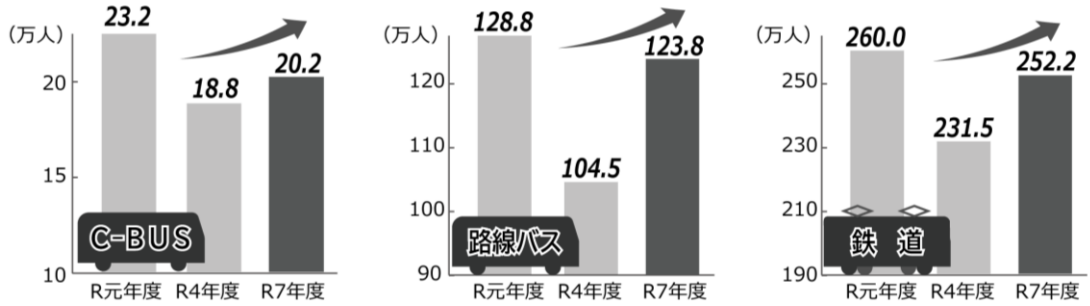
4. 自由意見

地域の公共交通について、ご意見、ご提案があればご自由にご記入ください。

公共交通の利用促進が求められています！

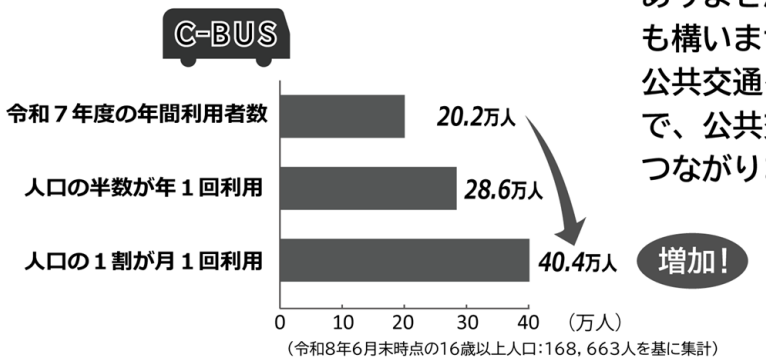
鈴鹿市の公共交通利用者数はコロナ禍により大幅に減少しましたが、皆さまのご協力により回復傾向にあります。しかし、近年の人件費や燃料費の高騰などにより運行経費も増加傾向にあり、公共交通の維持・改善を継続するには、さらなる利用促進が求められています。

利用者数の推移



年に１回、乗ってみよう！

利用者数の推計



（令和8年6月末時点の16歳以上人口:168，663人を基に集計）

ふだんの生活を大きく変える必要はありません。月に1回でも年に1回でも構いません。みんながほんの少し公共交通を利用するようになるだけで、公共交通の維持・改善・充実につながります。





地域のために、自分のために、未来のために
これからは「公共交通を利用する」ことを意識してみてください。

以上でアンケートは終了です。●月●●日(●)までに、記入された回答用紙を返信用封筒に同封の上、投函してください。ご協力ありがとうございました。